

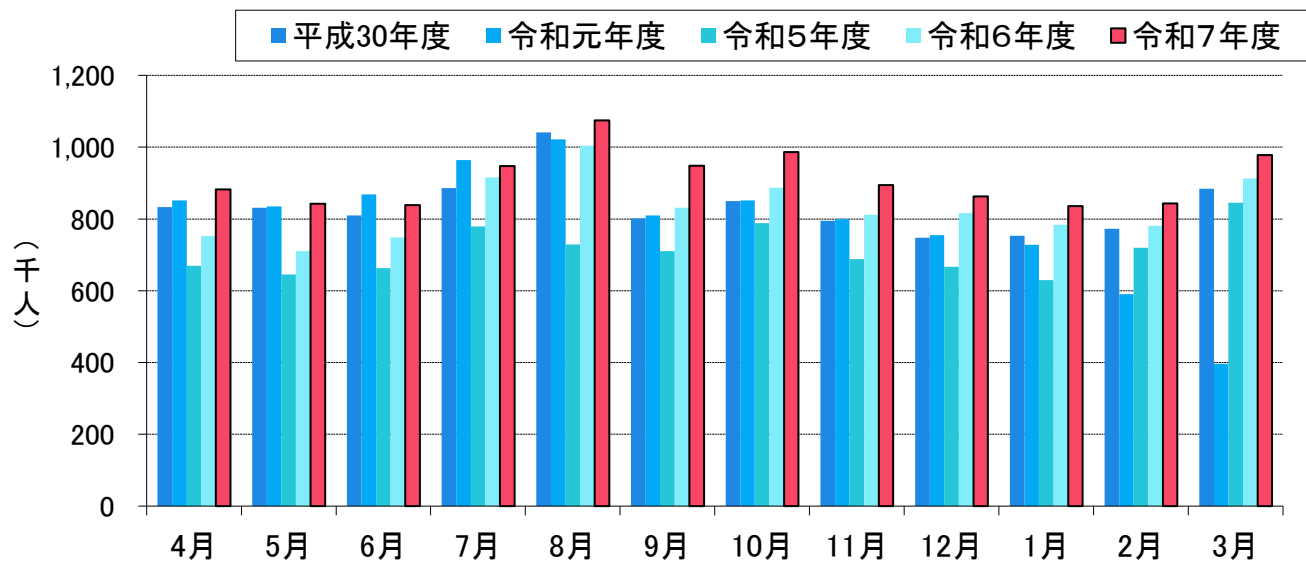
# 令和7年度 沖縄県入域観光客統計概況（速報）

文化観光スポーツ部 観光政策課  
令和8年4月発表

**令和7年度 1,093万5,800人**  
**対前年度(R6)比 +98万3,100人、+9.9%**  
**年度では過去最高**  
**※平成30年度比 +93万1,500人、+9.3%**

## 入域観光客数（国内+外国）

### ■月別入域観光客数の推移（平成30年度、令和元年度、令和5～7年度）



### ■令和7年度入域観光客の状況（令和6年度・平成30年度との比較）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和7年度	882.6	842.6	838.9	947.6	1,074.9	948.6	986.1	894.5	862.8	836.0	842.9	978.3	10,935.8
令和6年度	752.3	710.4	748.0	915.4	1,003.8	830.9	886.9	811.2	816.4	783.4	781.4	912.6	9,952.7
増減数	130.3	132.2	90.9	32.2	71.1	117.7	99.2	83.3	46.4	52.6	61.5	65.7	983.1
増減率	17.3%	18.6%	12.2%	3.5%	7.1%	14.2%	11.2%	10.3%	5.7%	6.7%	7.9%	7.2%	9.9%
平成30年度	833.2	830.9	809.7	885.8	1041.5	801.5	849.3	795.2	747.5	753.5	772.2	884.0	10,004.3
増減数	49.4	11.7	29.2	61.8	33.4	147.1	136.8	99.3	115.3	82.5	70.7	94.3	931.5
増減率	5.9%	1.4%	3.6%	7.0%	3.2%	18.4%	16.1%	12.5%	15.4%	10.9%	9.2%	10.7%	9.3%

※2月及び3月については速報値

### ■令和7年度の概況（総括）

令和7年度の入域観光客数は1,093万5,800人となり、対前年度比で98万3,100人増（9.9%増）となった。また、これまで最多を記録した平成30年度に対して9.3%上回り、過去最多の記録となった。

令和7年度は、国内観光客数が過去最高を記録したほか、外国人観光客数についても、国際航空路線やクルーズ船の再開・新規就航によりコロナ禍前（平成30年度）の水準に概ね達している。

令和8年度については、国内観光客数が好調な状況であること、外国人観光客数が航空路線の増便・新規就航があることやクルーズ船の寄港が多数予定されていること等から引き続き好調に推移すると見込まれる。

## 国内観光客についての動向

### ■令和7年度国内観光客の状況（令和6年度・平成30年度との比較）

（千人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和7年度	620.9	601.0	599.7	704.2	783.5	685.7	725.2	662.8	648.2	601.4	623.5	738.4	7,994.5
令和6年度	593.4	561.5	577.6	692.3	768.8	634.6	694.5	636.8	612.3	566.8	606.4	716.2	7,661.2
増減数	27.5	39.5	22.1	11.9	14.7	51.1	30.7	26.0	35.9	34.6	17.1	22.2	333.3
増減率	4.6%	7.0%	3.8%	1.7%	1.9%	8.1%	4.4%	4.1%	5.9%	6.1%	2.8%	3.1%	4.4%
平成30年度	556.4	514.6	534.6	595.0	741.5	571.0	602.8	604.1	570.3	523.7	532.1	657.4	7,003.5
増減数	64.5	86.4	65.1	109.2	42.0	114.7	122.4	58.7	77.9	77.7	91.4	81.0	991.0
増減率	11.6%	16.8%	12.2%	18.4%	5.7%	20.1%	20.3%	9.7%	13.7%	14.8%	17.2%	12.3%	14.2%

※2月及び3月については速報値

### ■国内観光客の概況

令和7年度は、旅行需要を見込んだ航空会社による臨時便・増便・季節運航等の実績が好調に推移したことから、前年度比で増加となった。年度では、これまで最多であった令和6年度を上回り過去最多を記録した。

令和8年度は、引き続き各方面からの輸送実績が好調に推移することが見込まれるほか、国内・県内発着のクルーズが複数回予定されていること等から、好調に推移すると見込まれる。

## 外国人観光客についての動向

### ■令和7年度外国人観光客の状況（令和6年度・平成30年度との比較）

（千人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和7年度	261.7	241.6	239.2	243.4	291.4	262.9	260.9	231.7	214.6	234.6	219.4	239.9	2,941.3
令和6年度	158.9	148.9	170.4	223.1	235.0	196.3	192.4	174.4	204.1	216.6	175.0	196.4	2,291.5
増減数	102.8	92.7	68.8	20.3	56.4	66.6	68.5	57.3	10.5	18.0	44.4	43.5	649.8
増減率	64.7%	62.3%	40.4%	9.1%	24.0%	33.9%	35.6%	32.9%	5.1%	8.3%	25.4%	22.1%	28.4%
平成30年度	276.8	316.3	275.1	290.8	300.0	230.5	246.5	191.1	177.2	229.8	240.1	226.6	3,000.8
増減数	-15.1	-74.7	-35.9	-47.4	-8.6	32.4	14.4	40.6	37.4	4.8	-20.7	13.3	-59.5
増減率	-5.5%	-23.6%	-13.0%	-16.3%	-2.9%	14.1%	5.8%	21.2%	21.1%	2.1%	-8.6%	5.9%	-2.0%

※2月及び3月については速報値

### ■外国人観光客の概況

令和7年度は、航空路線の新規就航や運航再開、増便があったことのほか、クルーズ船寄港回数の増加等により、前年度比で64万9,800人の増(28.4%増)となった。平成30年度と比べると、航空路線の新規就航やクルーズ船寄港回数の増加等に伴い、98.0%の水準に達している。

令和8年度は、航空路線において那覇-台中路線(3/30～)、下地島-釜山路線(4/2～)の新規就航のほか、石垣-仁川路線(3/29～)、下地島-仁川路線(3/29～)、那覇-シンガポール路線(4/2～)、那覇-高雄路線(4/17～)の増便があること、大型クルーズ船の寄港も多数予定されていること等から引き続き堅調に推移すると見込まれる。一方、中東情勢による航空便欠航や運賃高騰などの影響も注視していく必要がある。